

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 散策路「陶の路」について</p> <p>【質問趣旨】 本市には1999年から2014年にかけて整備された4つの散策路「陶の路」がある。瀬戸市HPの「陶の路整備」では「市民の方が歩きやすい安全で快適な道づくりを進めるとともに、市外から訪れる人々に瀬戸の歴史や文化を分かりやすく示しながら、やきものに触れたり、楽しく買い物できるルートを整備しています。」とある。しかし近年、舗装の劣化などによる損傷が著しい区間もあることから、「陶の路」の新たな活用を含め、今後の整備について伺う。</p>	<p>(1) 現状について</p> <p>(2) 整備について</p>	<p>①陶の路の中でも、最も古いルートは整備後20年が経過している。このため損傷箇所も近年は増加しており、市民からの修繕要望も多く寄せられている。舗装状態について現状をどのように把握しているか伺う。</p> <p>②観光で訪れる方々のことも意識して景観を重視したうえで整備された路であるが、4つの散策ルートのうち「暮らしっくストリート」「小狭間坂」は損傷の著しい区間があり、応急的な修繕の跡が目立つことから、現在はあまり良い印象であるとは言えない。本市の観光資源を繋ぐルートとして、この現状をどのようにお考えか伺う。</p> <p>③高齢化率の高い中心市街地にある陶の路ルートは地域住民にとっては日々利用する生活道路である。道路の破損により転倒などの事故が危惧される状態の区間もあり、道路施設としての安全性や機能性の確保という視点から現状をどのようにお考えか見解を伺う。</p> <p>①損傷が目立つ区間については面的整備も必要で、各道路の交通状況を踏まえ景観に配慮しつつ、費用対効果の高い工法で修繕していくことが望ましいと考えるが、これまでにどのような検討がされてきたか伺う。</p> <p>②損傷箇所については都度、応急的な修繕を続けている。今後も修繕を必要とする箇所は増えていくと思われることから、散策路「陶の路」としての計画的な修繕を進めていくべきと考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 将来活用について	<p>③本市の中心に位置し、本市にとって象徴的である深川神社を通る「炎護路」ルート。参道は煉瓦敷きで歩きやすいものの、車道と歩道の間には段差や縁石などの明確な境界は無く、高さ40センチほどの石柱を並べることで分離している。しかし、その低さからか車による破損が多い。また歩道の真ん中の低い石柱は歩行者にとって危険ではないかと考える。安全面と費用面の両面を考慮した対策が必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>①観光ボランティアの方々による陶の路を散策しながらの観光ガイドは好評であるが、現在はコロナ禍のため、行われてはいないと聞く。陶の路整備事業の当初の目的に対して、どのように検証し評価しているか伺う。</p> <p>②歴史資源を繋ぐ「陶の路」をさらに活かすためにも、2015年度に国の登録有形文化財に指定された旧山繁商店付近のルート整備は不可欠と考える。2018年3月に策定された「旧山繁商店保存活用計画」には既存の陶の路ルートである小狭間坂・炎護路ルートへの接続検討ルートが示されているが、その後の進捗状況について伺う。</p> <p>③今後、社会が様々に変化していく中で、陶の路ルートに関しても新たな活用方法が求められると考える。ベンチなどを備えた滞在スペースの確保や移動店舗販売など、中心市街地の活性化のための賑わいや市民の健康づくりなどの視点を取り入れ、より安全に楽しめる散策路とするなど、将来を見据えた「陶の路」のあり方については、どのような見解か伺う。</p>

(2 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。